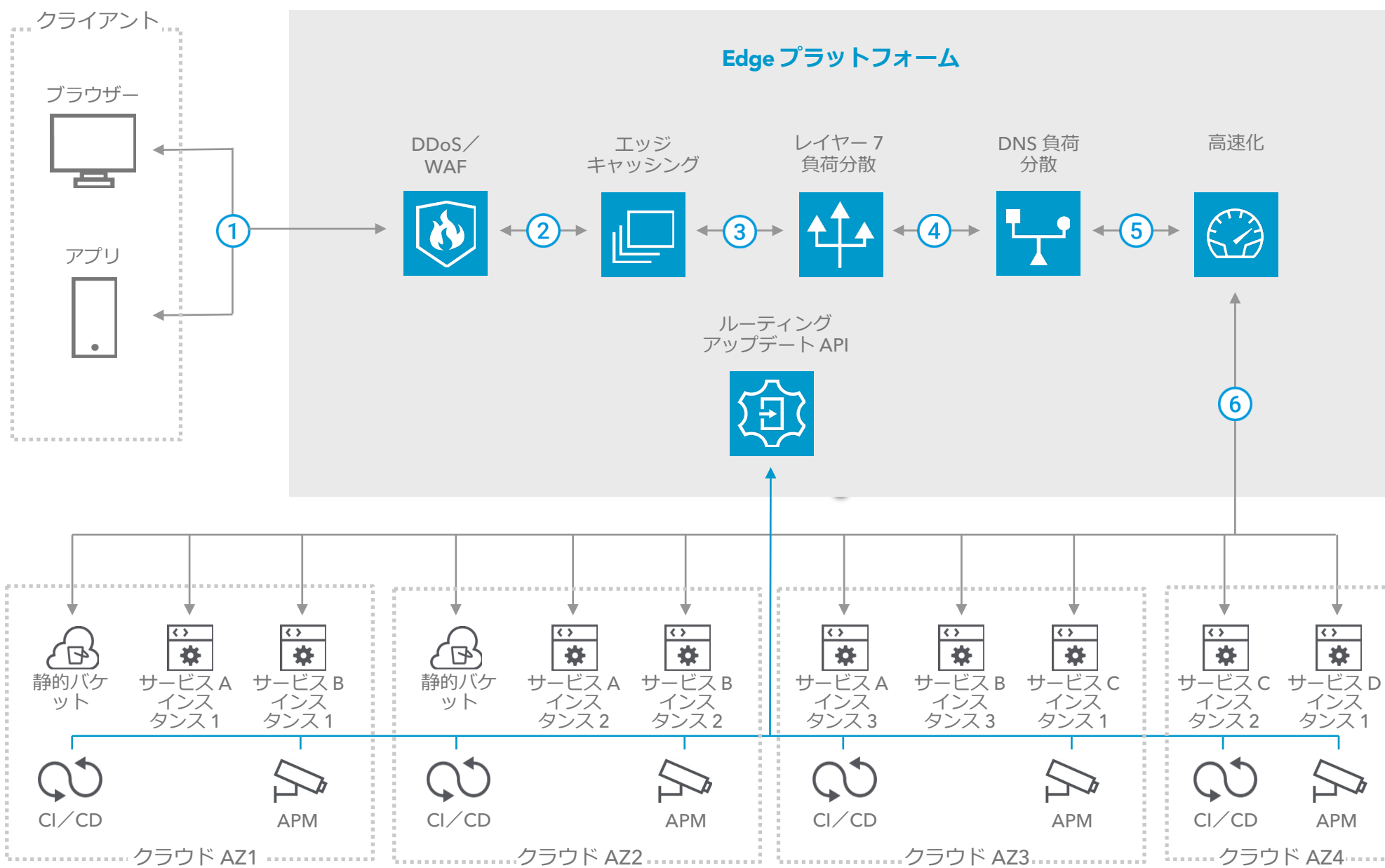


マイクロサービストラフィック管理

リファレンスアーキテクチャ



概要

最新のアプリケーションでは、マイクロサービスを使用して、アプリケーションのパフォーマンスを向上させ、開発時間を短縮しています。こうしたメリットがある反面、アプリケーションを構成するさまざまなサービスの管理とセキュリティの確保はますます複雑になっています。さらに、各エンドポイントに個別に対処する場合、一貫したセキュリティ制御を実施しにくくなります。そうした複雑さを解消するソリューションが、エッジです。Akamai は、セキュリティ、配信、負荷分散の機能を 1 つのプラットフォームに統合できます。これにより開発者は、セキュリティや運用の要件を見直すことなく、アプリケーションの構築や反復を行うことができます。機能を一元化することで、クラウドプロバイダーをより柔軟に選択できるようになるため、IT 部門の意思決定者はベンダーロックインを軽減することもできます。

- ① セキュリティ制御（WAF、ジオブロックリング、レート制限、レピュテーション、ボット検出）をエッジでリクエストに適用します。
- ② ローカルユーザーのエッジキャッシュから静的ページアセット（画像、動画、JS、CSS）を提供します。
- ③ レイヤー 7 ルーティングにより、トラフィックを個々のマイクロサービスに転送します。例：
/chat -> Ashburn + Oregon
/login -> Ashburn + Dublin + Frankfurt
- ④ グローバルな負荷分散により、コンピューティング（マイクロサービスの場合）または静的バケット（キャッシュ可能なコンテンツの場合）のアクティブなインスタンス間でトラフィックが分散されます。
- ⑤ クライアントとクラウドエッジ間でのルート、TCP、TLS の最適化により、可用性が最大化され、キャッシュ不可能なリクエストに対する全体的な応答時間が最小化されます。
- ⑥ 既知の Akamai IP 範囲または確立されたプライベート接続から公衆インターネット経由でトラフィックが配信されます。

キープロダクト

DDoS/WAF ▶ App & API Protector

エッジキャッシングおよび高速化 ▶ ION/API Acceleration

レイヤー 7 負荷分散 ▶ Application Load Balancer または PM の動作

DNS 負荷分散 ▶ Global Traffic Manager